

今年度 事業名	広報(広報誌等)事業	事業コード 792
来年度 事業名	広報(広報誌等)事業	

総合戦略 体系	452	安心して快適に暮らせるまちの創 造	デジタルファーストの推進	データの利活用
------------	-----	----------------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	秘書広報課	開始年度	1955	終了年度	9999
	目的	市民に対して、生活情報、市の制度、事業などを広く知らせることにより、市政についての関心を高め、まちづくりへの参画を促すとともに誰もが暮らしやすい生活情報等を提供する。				
	概要	・広報誌やHPを活用して市民への情報発信を行い、Facebook、YouTube、USTREAM、twitterなどのSNSを活用して特に若者や女性に市政への関心を高めてもらい、まちづくりへの参画を促す。 ・HPでの多言語化や音声により外国人や障がい者にもわかりやすい生活情報等を提供する。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)新型コロナウイルス感染症対策に係る、市民、事業所に対する支援策の周知として、5月8日に臨時号を発行した。(来年度)情勢によって臨時号の発行				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営		
			内容	市職員が広報原稿を作成し、業者が印刷を行っている。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標								
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021	
広報誌通常版発行部数(部/月)	部	目標値				23,500	23,600	
		実績値						
成果指標								
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021	
広報誌読者の割合	%	目標値				90	90	
		実績値						
計算 根拠	アンケート	達成率						
		実数値						

■ 通常期の指標

活動指標								
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021	
広報誌通常版発行部数(部/月)	部	目標値	22,000	23,000	23,300			
		実績値	23,000	23,300	23,400			
成果指標								
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021	
広報誌読者の割合	%	目標値	90	90	90			
		実績値	86	82	87			
計算 根拠	アンケート	達成率	95.6	91.1	96.7			
		実数値						

ランク	A	B	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	1.5
	臨時・嘱託	1.5
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	19,015	16,555	15,203	15,456
決算額	18,270	15,125	14,288	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	2	202	市政広報等発行費	15,456	15,456	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	15,456

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1はいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 7 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	生活情報の提供だけでなく、歴史・伝統・文化、市民活動、めがねのまちさばへの取り組みなどふるさと愛の醸成につながるような情報提供を行い、市民の「情報紙」として、市民に見ていただけるような「広報紙」を目指したい。
前年度の実績	H31.1月に広報紙を全面リニューアルし、以降、子育て、教育、健康をはじめとした生活情報のみならず、教育また、本市の推進する施策などについてもより分かりやすい構成で情報提供を行った。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 広報紙通達は、各町内区長を通じて全戸配布を依頼しているが、中には広報紙が手元に届かない市民もいるため、この度のコロナウイルス感染症対策に係る支援策など、緊急的な情報等が届いていないことが懸念される。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 R2.8.25運送分より、市内に展開するコンビニ大手3社(セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン)計28店舗に、広報紙を配布し店頭においていただくことになった。これにより、一人でも多くの市民に広報紙を届けることができ、情報発信、周知を図っていく。
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	広聴事務	事業コード 1710
来年度 事業名	広聴事務	

総合戦略 体系	452	安心して快適に暮らせるまちの創 造	デジタルファーストの推進	データの利活用
------------	-----	----------------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	秘書広報課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民から市政に関するご意見を広くお聴きし、お答えする中で相互の理解を深めるとともに、より市民の目線、生活者の視点に立った施策の展開を図る。				
	概要	郵便、市政提案箱、市長へのメール、ファックス、電話など間接的に聴きするほか、市長室での対応や市長と語り合う会など地区公民館に出向くことにより、市民の意見を直接聴く。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)「3密」回避を大前提として、例年の対面による会議形式を、各地区公民館と市役所をWebで繋ぎ意見交換会形式で開催した。(来年度)市町と語り合う会ならびに各種団体との意見交換会などは、コロナ禍を鑑みた場合、対面式ではなく、Web形式での開催となる可能性あり。				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営 内 市民からの市政に関するご意見を直接お聴きしたり、メールやFAXなどを通して広くお聴きする。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
市長と語り合う会	回	目標値				10	10
		実績値					
市長室、地区公民館などでの対談	回	目標値				10	5
		実績値					

成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
百聞百見ふれあい談話 対談者数	人	目標値				100	50
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					
市長と語り合う会 参加者数	人	目標値				500	100
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
市長と語り合う会	回	目標値	10	10	10		
		実績値	10	10	10		
市長室、地区公民館などでの対談	回	目標値	15	15	15		
		実績値	47	28	28		

成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
百聞百見ふれあい談話 対談者数	人	目標値	100	100	100		
		実績値	115	90	110		
計算 根拠		達成率	115	90	110		
		実数値					
市長と語り合う会 参加者数	人	目標値	500	500	500		
		実績値	599	590	469		
計算 根拠		達成率	119.8	118.0	93.8		
		実数値					

ランク A B A

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク
B、Cの
理由

DO
(実施)

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	タイプ	会計	一般会計
	予算額	70	70	70	0		事業タイプ	単独事業
	決算額	65	41	57			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	0

補助金等	No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

CHECK(評価)	①必要性 評価項目		②事務改善 評価項目		
	法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい	今以上に、コスト削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	
	行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	効 率 性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
	住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	有 効 性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
	国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない	
	事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	②事務改善 評価点数の合計	10	/20
①必要性 評価点数の合計		11	/16		

ACTION	今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	取組内容	各地区での市長と語り合う会での区長会、各種団体との意見交換を行い、市政運営の参考にしたい。 また、百聞百見事業については、市長室へお越しいただく個人、団体の皆様との意見交換に加え、SDGsの取り組みを市長や職員が説明し、市民理解を高めていく場にしていきたい。 あわせて、会議時にペットボトル等での飲み物の支給をやめマイボトル等を推進することで、SDGsを啓発していく。
	来年度へ向けて	各地区での市長と語り合う会での区長会、各種団体との意見交換を行い、市政運営の参考にするとともに、SDGsの取り組みについて市長が説明し、市民に対して理解を深めていただいた。 また、百聞百見事業についても、市長室へお越しいただく個人、団体の皆様との意見交換に加え、SDGsの取り組みを市長や職員が説明し、参加者に理解を深めていただいた。
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題		新型コロナウイルス感染症対策により、市長と語り合う会は、市役所と各地区公民館によるWeb会議として開催した。「新しい生活様式」を日常とすることで感染症対策に努めている現状で、Web会議形式など新しい会議形式を推奨して、意見交換の場を設けることも必要となってくるのではないかと。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点		特になし
方向性⇒		<input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】						今年 事業名	<input type="text"/>
年度	2017	2018	2019	2020	2021	市民役事業にかかる額(単位千円):	<input type="text"/>
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能		
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施		
						来年 事業名	<input type="text"/>
						市民役事業にかかる額(単位千円):	<input type="text"/>

取組可能な事業の詳細⇒

今年度 事業名	鯖江ブランドトップセールス事業	事業コード 2701
来年度 事業名	鯖江ブランドトップセールス事業	

総合戦略 体系	121	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-----------	----------	----------

PLAN (計画)	部署名	秘書広報課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	市長等が鯖江ブランドの良さを広く情報発信することにより、地域産業の活性化に繋がるとともに、市民の「ふるさと鯖江」への誇りに繋げる。				
	概要	市長等が出張する際や、著名人および来客へのお土産として、鯖江ブランド品を積極的に用いることにより、鯖江ブランドの良さをSNSなどを活用し、広く情報発信してもらう。さらに、地域産業関係者に対し、広報やHPを通じて、トップセールスしている旨を周知し、トップセールスを望む企業等による新たな鯖江ブランド品の創出に繋げる。				
	コロナ対応 の取組	(今年度) 県外へのお出張禁止、ならびに県外からの来訪自粛を促すなど各方面へのセールス全般を自粛した。(来年度) 状況および機会に応じて対応していく。				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営		
			内容	市長等の市関係者が来客等に鯖江ブランド品(眼鏡、漆器等)を手渡す。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
セールスを行う相手先	社・団体	目標値				10	5
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
商品アイテム数	個	目標値				7	7
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
セールスを行う相手先	社・団体	目標値	10	10	10		
		実績値	23	21	16		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
商品アイテム数	個	目標値	7	7	7		
		実績値	9	15	18		
計算 根拠		達成率	128.6	214.3	257.1		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	50

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	450	450	450	450
決算額	421	407	399	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	1	211	鯖江ブランドトップセールス事業費	450	450	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	450

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 11 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
効率性 今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 4 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	眼鏡だけでなく、鯖江の魅力あるものづくり産業や食を積極的に活用し、眼鏡だけではないめがねのまちさばえをPRしていきたい。
前年度の実績	眼鏡だけでなく、鯖江の魅力あるものづくり産業や食を積極的に活用し、眼鏡だけではないめがねのまちさばえを県内外にPRした。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 特段なし。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 特になし
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	広報(丹南CATV)事業	事業コード 2968
来年度 事業名	広報(丹南CATV)事業	

総合戦略 体系	452	安心して快適に暮らせるまちの創 造	デジタルファーストの推進	データの利活用
------------	-----	----------------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	秘書広報課	開始年度	2001	終了年度	9999
	目的	丹南ケーブルテレビをとおして市民に市の事業、施策を広く知らせることにより、市民に市政についての関心を高め、行政への参画を促す。				
	概要	丹南ケーブルテレビ情報番組放送を活用して10分間の情報番組「さばえほっと情報:映像を7分間、お知らせを3分間」を1日3回放映し、市民への情報発信を行い、市政についての関心を高め、行政への参画を促す。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)新型コロナウイルス感染症感染拡大により、イベント等が中止になる中、市民・事業者に対する感染症対策に関する情報番組等を製作し、市民周知に努めた。(来年度)状況により、昨年度と同様の対応で情報を発信していく。				
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(一部)		
			内	映像情報は業者に番組情報を提供し、業者が取材・編集・放送を行う。文字情報は職員が作成しており、ナレーションを委託している。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
行政番組年間放送日数	日	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
ケーブルテレビ視聴率	%	目標値					
		実績値					
計算 根拠	アンケート	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
行政番組年間放送日数	日	目標値	365	365	365	365	365
		実績値	365	365	365		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
ケーブルテレビ視聴率	%	目標値	35	35	35	35	35
		実績値	39	36	37		
計算 根拠	アンケート	達成率	111.4	102.9	105.7		
		実数値	39/100	36/100	37/100		

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.04
	臨時・嘱託	0.04
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	6,492	6,400	6,552	6,612
決算額	6,360	6,365	6,419	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	2	201	広報・広聴活動諸経費	16,207	6,612	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	6,612

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 11 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	子どもから高齢者まで様々な場を取材し、放送することで視聴率の向上を図っていききたい。また、丹南CATVと取り組んでいるSDGsに関する情報発信や認知度向上に向けた番組作りも積極的に実施していききたい。
前年度の実績	イベント等の取材だけでなく、SDGsをはじめ市の施策を発信する情報番組も製作することで、視聴率の向上と市民への情報提供を行った。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 市主催事業のみならず、市民役事業など各種団体の実施事業について、1つでも多く紹介していききたい。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 特になし
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):

今年度事業名	広報(FMたんなん夢レディオ)事業	事業コード 2969
来年度事業名	広報(FMたんなん夢レディオ)事業	

総合戦略体系	452	安心して快適に暮らせるまちの創造	デジタルファーストの推進	データの利活用
--------	-----	------------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	秘書広報課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	コミュニティFM情報番組放送を活用して、市の事業や施策を広く知らせることにより、市民に市政についての関心を高め、行政への参画を促す。				
	概要	コミュニティFM情報番組放送を活用して市民へ市の施策や行事等の情報発信を行う。				
	コロナ対応の取組	(今年度)新型コロナウイルス感染症対策に関する、市民、事業者に対する支援策や公共施設運営状況などの情報を発信した。(来年度)市民への施策や行事等の発信を行うとともに、コロナ禍においては適宜感染症対策に関する情報等を発信する。				
法令根拠		実施形態	現在	民間等委託(全部)		
			内容	市は情報を提供し、業者が取材・放送を行う。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミュニティFM放送	日	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
FM放送聴取率	%	目標値					
		実績値					
計算根拠	アンケート	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
コミュニティFM放送	日	目標値	365	365	365	365	365
		実績値	365	365	365		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
FM放送聴取率	%	目標値	15	15	15	15	15
		実績値	20	23	23		
計算根拠	アンケート	達成率	133.3	153.3	153.3		
		実数値	20/100	23/100	23/100		

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.01
	臨時・嘱託	0.01
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
---------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	2,652	2,465	2,487	2,650
決算額	2,652	2,465	2,487	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	2	201	広報・広聴活動諸経費	16,207	2,650	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,650

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 11 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ 事務改善
取組内容	魅力ある番組づくりを目指し、地区イベントや防災イベントなどを会場での生放送を行うなど、聴取率が少しでも上がるような番組づくりを進めていくとともに、別途それぞれの課が契約し放送している内容も番組に組み込み、放送内容の見直しを行いたい。
前年度の実績	魅力ある番組づくりを目指し、広報紙による情報紹介だけでなく、市の施策についても広く市民周知するために、市職員や各種団体の皆さんに出演いただき番組を放送した。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 魅力ある番組づくりに向け、月に1番組は丹南FM自主企画番組を取り入れられるよう努めたい。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 魅力ある番組づくりを目指し、地区イベントや防災イベントなどを会場での生放送を行うなど、聴取率が少しでも上がるような番組づくりを進めていく。
	方向性⇒ 維持

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	めがねのまちさばえ応援事業	事業コード 3421
来年度 事業名	めがねのまちさばえ応援事業	

総合戦略 体系	452	安心して快適に暮らせるまちの創 造	デジタルファーストの推進	データの利活用
------------	-----	----------------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	秘書広報課	開始年度	2017	終了年度	9999
	目的	「めがねのまちさばえ」を地域ブランドとして確立させていくためにフェイスブックなどSNSの登録者を「めがねのまちさばえ応援隊」として認定し、鯖江の魅力発信をお願いする。また、著名人など影響力の高い人物は、市のPRにつながる名前ですべて「鯖江ブランド大使」に任命し、差別化を図りたい。				
	概要	フェイスブック、ツイッター、LINEなどSNSを利用し、若者や女性への情報提供を行い、めがねのまちさばえの魅力発信を拡散させたい。また、「さばえブランド大使」は、鯖江出身者やモノづくりでのタイアップ者などを積極的かつ効率的に活用し、SNSだけでなくマスコミをうまく利用し、鯖江発信につなげていきたい。				
	コロナ対応 の取組	(今年度) SNSによるフォトコンテスト開催などを通して、鯖江ファンの創出に努めた(来年度) コロナ禍の収束が見込めない中では、SNSを中心とした情報発信による鯖江ファン獲得に努める				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営		
			内容	SNSへの情報発信、めがねのまちさばえを応援する企業や団体を応援企業・団体として認定する。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
SNS配信回数	回	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
めがねのまちさばえ応援隊新規登録数	人	目標値					
		実績値					
計算 根拠	各SNSアカウントのアカウント数参照	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
SNS配信回数	回	目標値	12	20	20	30	30
		実績値	12	15	21		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
めがねのまちさばえ応援隊新規登録数	人	目標値	300	350	350	500	500
		実績値	335	738	1547		
計算 根拠	各SNSアカウントのアカウント数参照	達成率	111.7	210.9	442.0		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.08
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	0	50	50	50
決算額	0	44	50	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	206	シティプロモーション推進事業費	11,867	50	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	50

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 11 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 有効性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 13 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ 事務改善
取組内容	R1年度に構築するメディアサイトを活用し、特に若者にターゲットを絞った情報提供を行うことで、市公式SNS等の登録者数を増大し、めがねのまちさばえの魅力発信を行いたい。
前年度の実績	市の女性職員が主体となり、全国のF1層(20代から30代)の女性目線をターゲットとしたサイトデザインに仕上げ、鯖江市への“入口”として市の産業や施策を紹介するPRサイト「鯖江日和」を製作した。
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	特になし。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	特になし
方向性⇒	維持

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度事業名	大人ファースト鯖江めがね	事業コード	3423
来年度事業名	大人ファースト鯖江めがね		

総合戦略体系	121	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	地域産業の活性化
--------	-----	-----------	----------	----------

PLAN(計画)	部署名	秘書広報課		開始年度	8	終了年度	9999
	目的	成人を迎える人々への記念品として鯖江産眼鏡を贈呈し、勤務先、学校などでPRしてもらう。若者が着用してくれる効果は大きいと考えられる。また、このような取り組みは「めがねのまち」ならではの取り組みであり、マスコミを通じたPR効果も期待され、「めがねのまちさばえ」の全国発信に繋がる。					
	概要	成人式の受付で参加者全員に「メイド・イン・さばえ」の眼鏡を贈呈する。成人式の最後には参加者全員が眼鏡をかけた写真を撮影し、知人、友人等にSNSを利用して最低1人には配信してもらうようにする。その配信が拡散することにより全国、世界に「めがねのまちさばえ」をPRすることが出来る。また、実際に鯖江産の眼鏡を愛用することでかけ心地やデザイン、品質の良さを知ってもらい、会社の同僚、上司、学校の友人、先生などへの眼鏡のPR効果や意見ももらえれば商品づくりの参考にもなり、「めがねのまちさばえ」としての相乗効果が期待できる。そして、大人の仲間入りをした記念の式典の日に「めがねのまち」に生まれ育ったことに感謝し、自慢できる「ふるさと鯖江」への思いも高めてもらえるような事業展開を図りたい。					
	コロナ対応の取組	(今年度)コロナ禍の折、不況に陥った眼鏡業界の産業支援の意味合いも踏まえた事業として実施(来年度)成人式開催の可否等も踏まえ事業実施を検討					
法令根拠		実施形態	現在	市直営			
			内容	眼鏡フレームを新成人に贈呈			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
SNSでの発信数	人	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
福井県外での番組取り上げ数		目標値					
		実績値					
計算根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
SNSでの発信数	人	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
福井県外での番組取り上げ数		目標値	3	3	3	3	1
		実績値	3	1	2		
計算根拠		達成率	100	33.3	66.6		
		実数値					

ランク A C C

事業要員	正規職員	0.08
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由
初年度は事業のインパクトもあり、複数のメディアに取り上げられた。継続事業となるとメディアでの取り上げ方も少なくなる。しかし、近年はものづくりのまち、産地鯖江の取り組みの1つとして、メディアで紹介されるなど、めがねのまちさばえとしての認知度向上につながっている事業であり、達成率のみの評価以外の効果が見られている。

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	6,000	6,000	6,000	6,000
決算額	5,801	5,831	5,891	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	206	シティプロモーション推進事業費	11,867	6,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	6,000

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 11 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 7 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="内容縮小"/>
取組内容	シティプロモーションとして、引き続き「大人ファースト鯖江めがね」を実施し、新成人に対して鯖江のモノづくりのすばらしさの再認識とふるさと愛の醸成を図る。
前年度の実績	「大人ファースト鯖江めがね」として、新成人に対し鯖江産眼鏡一式を贈呈した。今回は、贈呈して新成人によるSNS拡散にて発信だけでなく、眼鏡産業に携わる作り手側の想いを伝える動画を製作、上映し、あらためて鯖江のものづくりのすばらしさの再認識と、ふるさと愛の向上につなげる取り組みを行った。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 コロナ禍の折、産地振興策としての事業を検討
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 特になし
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>
来年度 事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>

今年度 事業名	眼育(めいく)さばえ	事業コード 3506
来年度 事業名	眼育(めいく)さばえ	

総合戦略 体系	999	※該当なし	※該当なし	※該当なし
------------	-----	-------	-------	-------

PLAN (計画)	部署名	秘書広報課		開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	子どものころからの目の健康づくり、目の健康に関する意識を高めてもらうために「眼育(めいく)」を発信し、幼少期の視力不良の早期発見や目の健康推進だけでなく、眼鏡、レンズの大切さも知っていただくことを目的に事業の推進を図りたい。					
	概要	新潟医療福祉大学石井教授と連携し、「眼育」をめがねのまちさばえから全国発信する。 ①「眼育(めいく)」をPRするための絵本作成や研修会を実施する。 ②視覚検診の充実を図り、3歳児健診だけでなく、就学前健診時にも屈折検査を導入する。 ③めがねのまちさばえ「子ども眼育スタディ」として、スマホと近視の関連性などを研究する。 ④高齢者向け、目の健康づくり教室を開催するなど目の健康づくりに取り組む。					
	コロナ対応 の取組	(今年度)保育所など現場での実習や研修会、また健診事業などが開催できず、オンラインによる研修会のみを開催(来年度)対面での講習会等が開催できない場合は、オンラインによる開催を検討					
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営			
			内容				

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
目に関する研修会・勉強会・イベントの実施	回	目標値				5	3
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
目に関する研修会・勉強会・イベントの参加者数	人	目標値				100	50
		実績値					
計算 根拠	R2年度:活動指標と成果指標にイベント参加者数を追加		達成率				
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
目に関する研修会・勉強会・イベントの実施	回	目標値		3	3		
		実績値		3	7		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
目に関する研修会・勉強会・イベントの参加者数	人	目標値		50	100		
		実績値		50	700		
計算 根拠	R2年度:活動指標と成果指標にイベント参加者数を追加		達成率		100	700	
		実数値					

ランク A A

事業要 員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額		5,430	1,478	250
決算額		5,135	1,429	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	206	シティプロモーション推進事業費	11,867	250	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	250

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 11 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。 有効性	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒

取組内容
研修会の実施や検査体制については、R1年度同様引き続き実施し、新たに作成した絵本を活用した保護者への意識の向上を図るとともに若い保護者のニーズに即したアプリを作成し、子どもの目に対する意識を高めたい。
また、イベント会場等で「眼育・メイク・make」を実施し、認知度向上を図りたい。
眼育・メイク・Make(3505)を統合する。

来年度へ向けて
新潟医療福祉大学石井雅子教授と共同で、就学前の子どもの視力異常の早期発見、治療につなげるために就学前健診など検査体制の強化や、目の検査キットや絵本を製作し、保護者や保育現場に携わる職員等に目の健康づくりや眼鏡の重要性について啓発する事業を中心に行った。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
昨年度の就学前健診等から、少なからずデジタルデバイスが子どもの視力に影響を与えていることが見受けられた。めがねのまちとして、デジタルデバイス専用眼鏡を開発するにも実証がなく、今後はその実証に向けての取り組みが必要である。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
専門的知識を要することと、3歳児健診時の視力検査結果を踏まえた就学前健診での視力検査との比較対象など、事業の遂行または継続性を考えて所管する部署について検討する必要がある。

方向性⇒

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名 度	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>
来年 事業名 度	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>

今年度 事業名	多言語ユニバーサル情報発信ツール「カタログポケット」導入事業	事業コード 3572
来年度 事業名	多言語ユニバーサル情報発信ツール「カタログポケット」導入事業	

総合戦略 体系	452	安心で快適に暮らせるまちの創 造	デジタルファーストの推進	データの利活用
------------	-----	---------------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	秘書広報課	開始年度	2019	終了年度	9999
	目的	情報弱者になりやすい高齢者や障がい者、外国人、また、スマホ・タブレット世代の若者など幅広い人たちに情報を伝えるため、多言語ユニバーサル情報発信ツール「カタログポケット」を導入する。紙媒体を読まない世代にも情報を伝える新しい手段であり、ホームページ、紙媒体などと併せて使用することで、多くの人の眼に止まる機会を増やすことが目的である。SDGsの理念である「誰一人取り残さない」に合ったツールであり、ITのまちさばえの推進にもつながると考える。				
	概要	多言語ユニバーサル情報発信ツール「カタログポケット」は届けたい情報をより多くの人に届けることに優れたツールである。 ・10カ国語に翻訳する機能もあり、情報弱者になりやすい高齢者や障がい者、外国人、また、スマホ・タブレット世代の若者など幅広い人たちに情報を伝えられる。 ・アプリをダウンロードした人に対してプッシュ通知を行うことが可能で、防災の避難情報や新しいイベントの周知、広報紙の発行日などを通知することができ、スマホを持っていれば、自動で情報が更新されたことを知ることができる。 ・全庁的に使用が可能。(最大パソコン4台まで同時使用可)				
	コロナ対応 の取組	(今年度) 新型コロナウイルス感染症対策に関する情報を発信 (来年度) 前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に関する市民周知を図る。				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営		
			内容			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標
 コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
周知回数(庁内通知等)		回	目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
利用件数(広報等)		件	目標値					
			実績値					
計算 根拠			達成率					
			実数値					

■ 通常期の指標								
活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
情報掲載件数		件	目標値			15	15	15
			実績値			14		
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
アクセス数		件	目標値			5,000	6,000	6,000
			実績値			9,184		
計算 根拠	「カタログ」をアプリにて閲覧した人。ただし、アプリを入れた人でも、ログ解析を拒否している人はカウントできない。		達成率			183.7		
			実数値			5000/9184		

ランク			A			
事業要員	正規職員	0.04	ランク B、Cの 理由			
	臨時・嘱託					
	※所要時間	0				

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額			540	495
決算額				

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	2	201	広報・広聴活動諸経費	16,207	495	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	495

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 11 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 0

取組内容
情報弱者になりやすい高齢者や障がい者、外国人、また、スマホ・タブレット世代の若者など幅広い人たちに情報を伝えるため、多言語ユニバーサル情報発信ツール「カタログポケット」を通して、紙媒体を読まない世代にも情報を伝えるとともに、ホームページ、紙媒体などと併せて使用することで、多くの人の眼に止まる機会を増やす。
また、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」に合ったツールであり、ITのまちさばえの推進にもつなげる。

前年度の実績
広報さばえの併用だけでなく、成人式の写真をアップすることで、多くの人からアクセスし閲覧していただいた。また、文化イベントなども掲載するなど、スマホを活用する世代に向けた情報発信を行った。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
市民生活に直結するような情報提供を関係課と連携し実施していく。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
広報さばえや市公式ホームページと合わせて、スマホを活用している人たちが手軽に情報取得できるよう生活情報など複数の情報を掲載していく。

方向性⇒ 維持

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	